

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和4年10月14日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	株式会社 森川組
所在地	北海道函館市海岸町9番23号
代表者役職・氏名	代表取締役社長 森川 基嗣
担当者連絡先	電話：0138-41-3126
	メール：f-satou@morikawagumi.com
ウェブサイトURL	http://morikawagumi.com/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は明治25年に創業し令和4年4月に創立130周年を迎えた総合建設会社です。</p> <p>北海道道南地区を中心として土木・建築工事の請負工事を基本とし、 港湾関係企業として港湾・漁港における改良、保全及び整備に関する海上土木工事、空港土木工事、浚渫埋立工事、漁礁設置工事の請負事業を実施しております。</p>

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	働き方改革における生産性向上を目指し、有給休暇取得率の向上を図る。	有給休暇取得率 【現状】 34% 【目標】 60%
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	ハイブリッド車等のエコカーの導入を増やし、CO2 排出量削減をする。	エコカー導入率 【現状】 46% 【目標】 90%
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	ボランティアや地域との交流機会を増やし、地域・社会貢献活動に積極的に参加する。	地域貢献活動実施回数 【現状】 6回 【目標】 8回

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している					5.1 5.2 5.5				8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる										8.5 8.8								
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる			3						8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる			3															
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる					5.1 5.5				8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している				4	5.5				8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5				8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる			3						8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる											11.6	12.4 12.5		14.1				
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている								7.3					13					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている								7.2 7.3				12.4	13.3					

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる			3.9			6.3					11.6	12.4						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・(特非)北海道魚道研究会に参加し、生物の多様性、生態系の保全に努めている。					6.6									15			
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	・社内トイレの自動水栓設置による節水への取組					6.4 6.6												
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・ISO14001の認証取得 ・北海道環境マネジメントシステム(HES)の取得			3.9		6	7				12	13.3	14	15				
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している											12.6							
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・再生可能エネルギー由来の電力を採用 (北海道電力(株) カーボンプラン)						7.2					13						
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる											12.2	13	14	15				
製品・サービス	21 【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・ISO9001の認証取得			3.9							12.4							
	22 【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・ISO9001の認証取得								9									
	23 【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・新技術情報提供システム(NETIS)への登録					6					12	13	14	15				
	24 【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・新技術情報提供システム(NETIS)への登録 ・BIM/CIMの活用	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	25 【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・地元学校からのインターンシップの受入実施				4					9	11	12		14	15	17		
	26 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・各自治体及び学校等に対する寄付 ・函館市及び近隣自治体にて清掃活動を中心としたボランティア活動の実施 ・定期的な交通安全啓発運動の実施(年2回)				4						11			14	15	17		
	27 【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	・地元下請企業と良好な関係(森友会)を構築し、円滑な工事施工に繋がるよう協力している。								8	9	11	12	13					

